No.13 6月号 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

●2018-2019年度
国際ロータリー第2700地区ガバナーメッセージ

寛容と思いやり そして和の心

国際ロータリー 第2700地区 ガバナー 岡野 正敏

2018-2019年度 国際ロータリーのテーマ
インスピレーションになろう(BE THE INSPIRATION)

大正デモクラシー時代 1922年の関門へ

アインシュタインと漱石、寅彦、虚子をめぐる関門時間旅行

門司港レトロのシンボルのひとつ、旧門司三井倶楽部は、あのアインシュタイン博士が泊まったことでも知られています。時は大正デモクラシーの時代。時間旅行にでかけてみれば、実に様々な文化の香りが満ちていたことが分かります。(裏面へ続く)

「月信」・月が巡り来るように

RI第2700地区ガバナー　岡 野 正 敏（門司西RC）

地区大会を終えほっと一息のところ、ガバナーとして最後の「月信」への投稿の締切りを迎えました。

先ずは地区最大のイベントである2018～2019年度地区大会を4月20～21日に無事終えたことをご報告申し上げます。登録／出席を賜りました皆様、ご協力いただきました小倉西・門司両コ・ホストクラブの方々、手作り感一杯の企画と運営に携わったホストクラブ門司西の一同に心から感謝申し上げます。

本大会は日本のロータリー34地区で最後の地区大会であり、正に平成の締め括りを飾り、令和に継ぐ節目の大会となりました。また10連休の最中（さなか）、4月28日には福岡国際会議場にて第31回全国ローターアクト研修会、第7回全国インターアクト研究会他が開催され、次代を担う若い諸君のエネルギーに元気をいただきました。

この一年を振り返ってみますと、就任直後の7月から11月中旬までは公式訪問にエネルギーを集中しました。豪雨等で度々交通状況が乱れる中、全ての訪問を予定通り行うことが出来たのは幸いでありました。

会員7人から140数人のクラブまで、それぞれのクラブがその規模、土地柄、歴史と文化の中で創意工夫され、クラブ運営をされている姿を拝見し多くのことを学び、ロータリーは「クラブファースト」であることを実感しました。

また1月下旬から3月上旬にかけて7グループ全てのIMに出席させていただきましたが、公式訪問・IM共、円滑に運ばれたのはガバナー補佐「7人の侍」の方々の綿密なご準備の賜と深く感謝申し上げます。

残る主たる行事は数クラブの周年記念式典と6月初旬にハンブルクで開催される国際大会への出席となりました。

平成から令和へ、時代の変遷と共に世界も日本も大きく変りつつあります。ロータリーも時代に適合した進化を遂げ、しかも持続可能・sustainableでなくてはなりません。

灘谷ガバナーエレクトは次年度地区メッセージを「不易流行」とされております。決して変ることのない不易性と、絶えず進展・流動する流行性の中で、変えてはいけないものと変っていくべきものを明確にする、との認識をお持ちと拝察いたします。

灘谷ガバナーエレクトに最大のエールを送ると共に、第2700地区の益々の発展とロータリアンの皆様のご健勝を祈念いたし、当年度ガバナー月信を締め括らせていただきます。

ありがとうございました。

（平成31年4月30日記）

2019~2020年度国際ロータリー第2700地区

ガバナーノミニー決定宣言

貫（ぬき）　正義（まさよし）（福岡南ロータリークラブ）

国際ロータリー第2700地区2021~2022年度ガバナーの選出について、地区ガバナー指名委員会にて慎重審議の結果、「貫　正義君」(福岡南ロータリークラブ) が指名されました。
「貫　正義君」は大企業の経営者として実績を残されると共に、地区内全会員の信望厚く、地区のリーダーとして最も相応しい人材の一人であります。

しかし、国際ロータリー細則16条16.070.3節のガバナーノミニー資格要件 (クラブ会長経験者) を満たしていなかった為、国際ロータリーに対し「資格免除申請」を行って参りましたが、2019年5月13日付けにてRI会長から承認を受けました。

拠って、国際ロータリー細則14条14.020.2節に基づき「貫　正義君」を2019~2020年度国際ロータリー第2700地区ガバナーノミニーに任命する事と決定し、会員の皆様にお知らせ致します。

2019年5月21日

国際ロータリー第2700地区　ガバナー　**岡野　正敏**
ガバナー指名委員長　**安増　惇夫**

貫　正義

プロフィール

所属クラブ	福岡南ロータリークラブ
職業分類	電力供給

〈ロータリー歴〉

2009年9月10日　福岡南ロータリークラブ　入会
2015年~2017年　福岡南ロータリークラブ　理事
2018年~2019年　福岡南ロータリークラブ　副会長
2019年~2020年　福岡南ロータリークラブ　会長

〈経　歴〉

1968年３月　九州大学経済学部卒業
1968年４月　九州電力株式会社入社
2001年７月　同社　理事　広報部長
2003年６月　同社　理事　鹿児島支店長
2003年７月　同社　執行役員　鹿児島支店長
2007年６月　同社　取締役　常務執行役員　事業開発本部長　情報通信本部長
2009年６月　同社　代表取締役副社長　お客さま本部長
2010年６月　同社　代表取締役副社長
2011年５月　福岡経済同友会　代表幹事(現)
2012年４月　九州電力株式会社　代表取締役会長
2015年６月　九州ニュービジネス協議会会長(現)
2018年７月　九州電力株式会社　相談役
2018年12月　学校法人　福岡大学　理事長(現)

第2700地区　地区大会を終えて

門司西ロータリークラブ 地区大会実行委員長　伊 藤 宗 玄

今年の国際ロータリー第2700地区の地区大会は4月19日～21日までの3日間、親睦ゴルフ大会は門司ゴルフ倶楽部で、大会第1日目はリーガロイヤルホテル小倉で、大会第2日目は北九州ソレイユホールに会場を移しての開催でした。思い起こせば、2016年11月24日に第1回地区役職者会議並び地区大会役職者会議を開催して、地区大会の日程と開催場所を決定してからのスタートでした。そして、2018年7月4日に宗像ロータリークラブとの引継ぎ会議を開催後、いよいよ地区大会に向けて本格的に活動開始となりました。今年に入ってからは想像以上に大変なことでしたが、若い力が中心となり大いに活躍して乗りこえて下さり、各々が貴重な経験のできた実りある大会となったことを感謝いたします。

2018～2019 RIバリー・ラシン会長のテーマは「インスピレーションになろう」そしてこのテーマを受け、岡野正敏ガバナーのメッセージは「寛容と思いやり そして和の心」を掲げられました。この岡野正敏ガバナーのメッセージの積極的実践は、ロータリーの目的でもある人類永遠の平和推進のための基盤となるものだと思い地区大会の基調としました。

2018～2019年度国際ロータリー第2700地区の地区大会は、地区内外のガバナー、パストガバナー、ロータリアン、ロータリーファミリーの皆様など、ゴルフ大会を含むと総数2000名を超える多数のご参加を賜り、盛大に開催することができましたことは誠に有り難く感謝申し上げます。

大会前日の19日は、恒例の親睦ゴルフ大会が門司ゴルフ倶楽部で開催され、晴天の中で140名ほどの参加者がプレーされました。その中でお世話をして下さったコ・ホスト小倉西ロータリークラブ鶴田会長、伊藤ゴルフ大会実行委員長をはじめメンバーの皆さまには本当にお疲れさまでした。

20日の大会第1日目は、リーガロイヤルホテル小倉で開催し、ホストクラブ会長挨拶、ガバナー挨拶、RI会長代理挨拶、そして地区指導者研修、財務報告、監査報告、大会委員会報告等の後、マラソン解説者の金 哲彦様より「病気かもしれないが健康でもある」をご講演いただきました。夕刻には、RI会長代理ご夫妻歓迎会を開催、ジャズの街宇都宮からお越し下さった鈴木 宏RI会長代理ご夫妻はじめご臨席下さった皆様には、心地良いジャズ演奏の中で大いに会話を楽しむひと時を過ごしていただけたものと思っております。

21日の大会第2日目は、北九州ソレイユホールに会場を移しての開催でした。午前の、ガバナー挨拶に続く鈴木 宏RI会長代理のRI現況報告では、ロータリー理念と実践を非常に丁寧にかみ砕いてお話いただきました。その中、私個人としては「我利我利」ではなく「自利利他」の実践こそがロータリアンであり、先ずは夫婦間の実践からとの指南が腑に落ち、鈴木 宏RI会長代理自身で咀嚼された言葉で語られたロータリーのお話に感動しました。ホームカミング講演ではKC大学校経営学部教授の李 鋼浩氏に「ロータリー米山奨学生としての日本と韓国の架け橋」の講演をしていただきました。

お昼からは国際政治学者で、この2月まで東京大学政策ビジョン研究センター講師をされていた三浦瑠麗様に「日本を取り巻く国際情勢」と題して記念講演をしてい

ただきました。三浦様の父親は門司駅近くが実家で、子供の頃に何度か里帰りで門司に来たことがあるとの話から始まった講演90分は、大学で丁寧な講義を聞いているような感じでした。その中、戦争にならないための外交は常に相手の立場に立って考えて判断することが大事であるとのお話は、平和推進を願うならば全ての社会生活の中で我々が常に実践しなければならないことだとの思いを強く持ちました。

結びになりますが、平成最後の地区大会、参加して頂いた皆様から「北九州まで来て、そして参加して良かった」という声が聞こえることを願い、今回の地区大会の成功を中心になって導いてくれた大会実行副委員長兼任の田村事務局長・林事務局次長をはじめ門司西クラブメンバーの皆さん、コ・ホスト門司ロータリークラブ江島会長はじめ門司クラブメンバーの皆さん、コ・ホスト小倉西ロータリークラブ鶴田会長・伊藤ゴルフ大会実行委員長をはじめメンバーの皆さん、そして、岡野正敏ガバナー、末吉地区幹事、地区大会を応援していただいた多くの皆様へ衷心より感謝申し上げます。

2018-2019年度

ガバナー補佐 1年を振り返って

第1グループガバナー補佐
樋田　功（豊前ロータリークラブ）

次期ガバナー補佐会議、地区チーム研修セミナー、PETS、地区研修・協議会等で年間スケジュールや地区の目標が示されまして、この1年間ガバナー補佐の役割として、第1グループ6クラブをたびたび訪問させていただき大変お世話になりました。2ヶ月に1度の「会長幹事会」でもいろいろな情報や知識をいただき感謝しております。

国際ロータリー、バリー・ラシン会長のテーマ「インスピレーションになろう」。RI第2700地区岡野正敏ガバナーのメッセージ「寛容と思いやり そして和の心」に沿った地区の長期計画をもとに就任のご挨拶、クラブ協議会、ガバナー公式訪問と回を重ねるごとに各クラブの特色や奉仕活動、運営の実績に感動と尊敬の念、それと親しさを感じました。2月2日のIM及び6クラブ合同例会にはご協力をいただきありがとうございました。

10月9日に行橋RCは創立55周年記念例会が実施されました。地域のリーダーとしての実績、特に国際交流の交換留学生、送り出し留学生40名、本年は受け入れ留学生39人目、ドイツよりエミリア・コンパラさんをお迎えしています。

4月7日に行橋みやこRCは創立35周年記念式典が実施されました。いろいろな奉仕活動・実績に敬服しております。第1グループで1番元気で地区運営にも多くの委員を輩出していただいています。グループのけん引役として今後ともよろしくお願いします。

4月20・21日の地区大会ではご協力いただき感謝申し上げます。次年度豊前RCは令和2（2020）年4月26日に創立60周年記念式典実施予定です。よろしくお願いします。第1グループ6クラブの皆様に、大変お世話になった感謝とお礼を申し上げます。

第2グループガバナー補佐
霜原俊雄（門司ロータリークラブ）

今年度最大のイベント地区大会も無事に終り、平成の時代と共にRI第2700地区の今年度の活動計画は間もなく終焉を迎えようとしています。今静かに、この一年間を省みると一番印象に残っているのは小倉南RCのクラブ協議会でした。

[3年後のクラブの有り方を考える]と言う題目でクラブフォーラムが行われました。

パネラーやコーディネーターは入会10年未満の会員で構成されクラブ内でのいろんな問題点や疑問に思った事など発表し、話し合い、会場内のベテラン会員が答えを出すか、もしくは考え方を述べるといったものでした。このクラブフォーラムが全会員の心を一つに纏め、風通しの良い理想的なクラブ運営が生み出されるのではと思いました。とっても興味深く、参考になりました。是非我々のクラブにも取り入れたいと思います。

古森会長はクラブ活動計画の作成時に各クラブの委員長、副委員長と個別に面談し活動の内容について充分話し合っているのでクラブ協議会当日は改めて内容について再確認をする必要は無いのですと云われていました。

無我夢中で走りぬけた一年間でした。高齢で頭の働きの鈍った私には多少重荷だったようですが皆様の寛大な心と思いやりの気持に支えられて何とか最後までガバナー補佐という大役を曲りなりではありますが努め終える事ができました。

改めて第2グループ各クラブの皆様や会長、幹事様に厚くお礼を申し上げます。

第3グループガバナー補佐
中 塚 睦 彦（遠賀ロータリークラブ）

ガバナー補佐を引き受け、この1年を振り返りますとロータリーの素晴らしい奉仕活動の広さ深さを知り、そして貴重な体験や勉強をさせて頂き感謝しております。さて、RI会長バリー・ラシン氏の『インスピレーションになろう』をテーマに私共、第2700地区、岡野正敏ガバナーは、そのお人柄からのメッセージとして“寛容と思いやり　そして和の心”でした。平成29年11月18日(土)のガバナー補佐会議にての勉強から始まり数回の役員会や打ち合わせ等がありスタートしました。先ず大きな仕事としてガバナー公式訪問前の各クラブの協議会での活動計画書による問答、調整でした。そこから学んだ事は各クラブの創設の歴史、又、地域の特性にあった事業を強烈に行っている事、そして例会のあり方や雰囲気の違い、すなわちクラブ毎の自主性や柔軟性でした。このような事を知る意味でも、その年度、年度の会長、幹事は一度や二度はクラブ訪問をすべきではないかなと思いました。そして岡野ガバナーの公式訪問です。各クラブ共、その人間性溢れる和やかな懇談会、又、例会における卓話の拝聴等満足された事と存じます。なんといっても最大のイベントは地区大会です。4月20日21日の開催で岡野ガバナーの強烈なリーダーシップにて非常に凝縮され中身の充実した近年にない素晴らしい大会でした。むすびに第3グループ各クラブの皆様には幾度となくクラブ訪問させて頂きましたが、その都度とても温かく迎えて頂き、そしてご理解とご協力を賜りました事に忠心より御礼申し上げます。新元号『令和』のスタートです。各クラブのますますのご活躍ご発展を祈念し筆を置きます。感謝

第4グループガバナー補佐
吉 武 宗 継（福岡城南ロータリークラブ）

2017（平成29）年9月13日付、国際ロータリー第2700地区ガバナー安増惇夫、ガバナーエレクト岡野正敏、両氏記名の2018～2019年度ガバナー補佐委嘱状を受領して21ヶ月余、任期満了を迎えることとなりました。

中国、陶淵明の詩『時に及んで当に勉励すべし、歳月は人を待たず』に謳われた通り、顧みると瞬く間の役職期間でした。ガバナー補佐に課せられた任務は、予想以上の多岐にわたりマニュアル通りに熟すことは至難の業と言えます。

いろいろと思い悩みましたが、愚直に努力して学びそして励む“入りて学び、出でて奉仕せよ”ロータリー運動の基本に立ち返ることで平常に復し、肝が据わりました。

ガバナー補佐の役割を総括して○クラブ協議会○IM○地区大会が重要なものとして挙げられます。ガバナー公式訪問時の随行は、鞄持ちなので除外します。

クラブ協議会に出席して各クラブの運営方針や活動状況の発表、委員会報告、クラブの長期計画や未来志向についての意見具申を傾聴いたしました。

第4グループ10クラブは、歴史と規模や環境の相違また独自性もあり一括りには出来ませんが、概してロータリーの目的に向かって中核的価値観（奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ）の重要性を認識した日常活動の誠実さが伺えました。

一年間、皆様の好意と友情で曲がりなりにも責務を果たすことが出来ました。厚く御礼を申し上げます。

第5グループガバナー補佐
佐 藤 良 治（福岡城東ロータリークラブ）

昨年突然我がクラブから指名を受けてお引き受け致しました。いの一番に読んだのが「地区を成功に導くリーダーシップ　ガバナー補佐編」でした。実を言うと、ロータリー歴25年に達しますが補佐の仕事は全く頭にありませんでした。「役割と責務」を一読した時に責任の重さを痛感しました。同時に時間があるのだろうか?思案しました。しかし、考える暇もありませんでした。11月から地区チーム研修セミナーが有り、岡野ガバナーと会い地区目標についてお話を聞きました。「寛容と思いやり　そして和の心」という実にシンプルで、かつロータリーの精神性を凝縮したようなテーマでありました。7月から糸島のロータリークラブ訪問を皮切りに年内に10クラブの訪問計画を立て、協議会とガバナー公式訪問で2度ずつの訪問となります。クラブの1年計画を援助する役割です。増強や人頭分担金のことを中心にした話と親睦と奉仕のバランスをいかにするかなど、各クラブによりその歴史的想いがありました。いずれにせよロータリーの基本理念に照らし合わせれば、おのずと結論が見えてきます。各クラブの1年の指針をガバナーに報告して公式訪問になるわけです。岡野ガバナーの人間性もあるのでしょうが、それぞれのクラブから歓迎を受けて無事に終了しました。また、壱岐の島訪問では大歓迎を受け熱いロータリーの島でありました。訪問が終わると2月のインターシティーミーティング（I.M）が開催されております。補佐の一大イベントでもあります。樋口健蔵実行委員長の指揮の下、富田英壽パストガバナーを迎えて基調講演をし

て頂きました。テーマは「魅力あるロータリー」です。その後、各ロータリークラブの代表者にクラブの魅力を語って頂きました。I.Mは身近なクラブがロータリーを学び奉仕する団体として活力を養う勉強会と位置づけています。入会浅い会員に職業を高めて地域や世界に奉仕する団体であることを認識してもらいました。会員の協力、各クラブの絶大な協力を頂き無事終了しました。時代は急速に変化しています。伴って、ロータリーも変わりつつあります。活動が始まった時(75周年)、125カ国35万人以上ポリオ患者がいましたが、ロータリーが12億ドル以上の資金を投入して20億人の子供たちにポリオワクチンを投与しました。今は1桁台発症に激減しています。これは、ロータリーが最大の世界貢献です。そして最後に、国際ロータリーは会員人数の増加をさせるあまり、奉仕の機会を持ちたいと思うことが薄い会員まで入会をさせています。基本理念からはぜひ離れないようにしたいものです。私の仕事は4月20、21日に地区大会を成功させて5月の末に会長幹事会を開催し、クラブ評価をしなければなりません。次期地区委員も補佐も決まりました。令和元年6月に任期が終了致します。ガバナー補佐で学んだことは、「親睦と奉仕」のバランスは難しいということであります。奉仕の機会を持ちたいという思いがあればいつでも奉仕が出来るシンプルな団体であっても良いのではないかと思います。

役員・会員各位に最後ではありますが、感謝をしたいと思います。ご協力、ありがとうございました。

第6グループガバナー補佐

小 川 哲 彦（甘木ロータリークラブ）

私のガバナー補佐としての任期もあとわずかとなってきました。この間、グループ内外の皆様の全般のご協力のもと大過なく職責を全うすることが出来ました。皆様のご協力、ご支援に改めて感謝申し上げます。

ロータリー歴30余年の私にとって、ガバナー補佐としてのこの一年間はロータリー人生の中で誠に貴重な体験をすることが出来、改めて、ロータリーのすばらしさを認識することが出来ました。

しかしながら、年度目標値推進にあたっては各クラブ協議会等において実現をお願いしてまいりましたが、残念ながら所期の成果を収めることが出来ませんでした。特に、会員増強の取り組みにおいては2019年2月末日現在、現会員数に対して4パーセント弱の増強に留まり、目標の7パーセントには程遠い状況であります。

クラブ会員数の増強は永続的なクラブ存続の要であり、クラブ会員数の逓減が続く現況では、緊要な、是非とも達成されなければならない目標であり、私の力不足を大いに反省しております。

最後に、地区大会の件について、若干発言させて頂きたいと思います。毎年地区大会に際して思うことは、参加登録数に対して、実際の参加人数にギャップがあるということであります。開催ホストクラブ、コホストクラブの開催に際してのご苦労は大変なものであります。しかしながら、実際の参加者は、はなはだ満足すべきものではなく、今後の地区大会開催に不安を残すものではないでしょうか。大会開催関係各位のご苦労を多としつつも批判がましい発言となってしまいました。ロータリーの友情に免じてお許しください。このことはロータリーの行く末を考えたとき、ロータリアンひとりひとりが考えねばならない優先事項に思われます。私は今後とも、時間の許す限りロータリー会員として在籍して、ロータリー人生を満喫したいと思います。どうか皆様、末永いお付き合いの程よろしくお願い致します。

第7グループガバナー補佐

鶴 原 敏 夫（大牟田南ロータリークラブ）

バリー・ラシンRI会長のテーマ「インスピレーションになろう」と岡野正敏ガバナーの地区テーマ「寛容と思いやり そして和の心」の提唱から始まった2018～19年度。

まずは各クラブへガバナー補佐就任挨拶開始、8月に入ると早速クラブ協議会、公式訪問が始まりました。ガバナー補佐就任時に、各クラブの奉仕活動にすべて参加すると決めていましたので早速実践、ほぼ全ての活動に参加させて頂き、各クラブ共地域の為、地域の皆さんの為と努力されていることを実感しました。

10月18日で第7グループ公式訪問すべて終了と同時に次のIM開催準備と各クラブへIM出席へのお願い訪問。3月9日IM開催、第一部講演者田村志朗さんは青少年問題、世界の貧困家庭の子供達への思いを切々と語られました。私はロータリーの次の目標はこれかと。第2部は大牟田を舞台にしての映画「いのちスケッチ」映画監督瀬木直樹氏には撮影時の模様、実際にオーデションの再現などお話上手で楽しい講演を頂きました。

また、八女ロータリークラブが十数年前に奉仕活動で設置されたタイ国チェンマイの学校よりトイレ・洗面所の改修、改善要請の件、会員皆様の努力と地区国際社会奉仕委員会の協力を得て器具の交換や改修の工事を開始。その現場を会員数名で6月21日からタイ・チェンマイへ視察に行かれます、ガバナー補佐一緒しませんかと靏幹事にお誘いを受けましたが残念、翌22日(土)は次年度役職者会議出席の為参加できず7月報告会しますとの事、楽しみです。平成最後は4月27日大牟田北ロータリークラブ30周年記念式典、会員の皆様誠におめでとうございました。以上今年度の報告といたします。

第7グループ会員皆様事務局の皆さん一年間お世話になりました有難とうございました。

また、私を支えてくれた大牟田南ロータリークラブの皆さんに感謝申し上げます。

第31回全国ローターアクト研修会並びに 国際ロータリー第2700地区ローターアクト第50回地区大会 報告

地区ローターアクト委員会 委員長 西田 博（福岡城西RC）

4月28日・29日福岡国際会議場・福岡サンパレスにおいて、第31回全国ローターアクト研修会並びに国際ロータリー第2700地区ローターアクト第50回地区大会を開催しました。と同時に全国インターアクト研究会も初めて開催されました。

全国から多くのロータリアン、ローターアクターのご参加が有り、ご登録では1100名以上となりました。特に2700地区提唱ロータリークラブの熱い御協力により、450名以上のロータリアンのご登録が有りました。特に国際ロータリー第3490地区(台湾)からは、3人のロータリアン含めて60人参加していただき、さらに会を盛り上げて頂き誠に有難うございました。

今回はローターアクターのプログラムの充実は勿論のこと、ロータリアンにもプログラムを用意し、意義ある大会に成る様に努めてまいりました。お陰様でローターアクターのプログラムの一つであるフィールドワークは天候にも恵まれ実施出来ました。更にロータリアンの皆様にもローターアクト活動をより活発にする為のテーマ等を用意しましたので、楽しんで頂けたのではと思います。

顧みますと、4年前地区RA山本啓之委員長時に福岡開催が決まり、以後地区ロータリアン、ローターアクトOB, OG、地区ローターアクター全員の御協力で無事大会を終わることが出来ました。皆様の御協力、ご努力に感謝申しげます。

有り難うございました。

第31回 全国ローターアクト研修会　開催報告

福岡南RAC 中島和洋

4月28日（日）、29日（月・祝）の2日間、福岡市の福岡国際会議場にて、国際ロータリー第2700地区ローターアクト　第50回地区大会のメインプログラムとして、第31回 全国ローターアクト研修会が『milestone（マイルストーン）』というテーマのもと開催されました。国内外から1，145名ものご登録を賜り、過去最大規模の研修会としての盛会裏に開催されました。大会開催にあたり、ローターアクト提唱ロータリークラブ会員の皆様を中心に、物心両面からのご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

本大会では国内史上初めて、インターアクトとローターアクトの全国大会が同会場にて開催されました。今までにない試みであったため、2700地区ローターアクト会員112名が企画から本番運営に至るまで試行錯誤をしながら準備を進めて参りました。

全国研修会の運営を通して、私を含めた2700地区会員1人1人がリーダーシップや企画・運営力を獲得することができました。この経験を糧とし、2700地区ローターアクト一丸となって活動を推進して参ります。この度は、貴重な人生の経験をさせて頂き、誠にありがとうございました。

全国インターアクト研究会報告

地区インターアクト委員会 委員長 林　寛之（門司西RC）

第7回全国インターアクト研究会が「お互いの気付き・お互いの学び」をテーマに4月28日（日）会場は福岡国際会議場にて2700、2720、2730、2740、4地区合同で、九州で初めて開催されました。

北は北海道から南は鹿児島まで全国のインターアクト地区委員長、各地区代表の顧問教師、そして各地区代表のインターアクターが一堂に集まり92名参加されました。

また同時に4地区のインターアクト委員長、顧問教師、インターアクターも4地区合同会議に203名が参加されました。

12時45分の点鐘から、全国インターアクト研究会委員長の三木　明RI理事の挨拶に始まり、大会実行委員長の河野一郎より分科会の説明を行いました。

全国インターアクト会議では各分科会で国際理解と社会奉仕をテーマに「全国一斉で何かやろう」について活発な話し合いが行われました。

全国顧問教師会議では、全国インターアクト代表校6校による事例紹介があり、全国で活発に活動されている学校の取り組みを全国の顧問教師の先生方に共有していただきました。第2部の分科会では顧問の先生方の悩みや情報を共有しました。

全国インターアクト地区委員長会議では、2700地区青少年奉仕委員長田村志朗氏による卓話があり2700地区の青少年関係の取り組みを話されました。

また第二部では、次回の全国インターアクト研究会の開催地を決める会議が行われ次回は2800地区の山形、2590地区の横浜、2670地区の四国、2510地区の北海道と4期先まで開催場所を決めることができました。

また、同時に2700地区の年次大会も同会場にて、同時開催されていたので2700地区にて3月に行われた台湾海外研修参加者による報告も全国インターアクト研究会の皆様に見ていただくこともできました。

最後にメインホールにて分科会の会議報告、ローターアクトのプレゼンを行い研究会も無事終了することができました。

終了後、全国のインターアクト地区委員長のみの懇親会も行われ、全国のインターアクト委員長のネットワークも築くことができました。

3地区のご協力そして、2700地区のご協力により全国インターアクト研究会が開催できましたこと地区委員長としてお礼申し上げます。ありがとうございました。

飯塚ロータリークラブ創立50周年を迎えて

本年度クラブテーマ《想いを　つなぐ　未来へ》

飯塚ロータリークラブ会長　**千 々 和 敬 明**

飯塚ロータリークラブ創立50周年記念式典を4月7日に開催いたしました。当日は、地元飯塚市長、嘉麻市長、桂川町長並びに地元各界の来賓の皆様、そして岡野正敏ガバナー（代理出席・第3グループガバナー補佐中塚睦彦君）、そして田川、遠賀、八幡、八幡中央、八幡南、八幡西、直方、直方中央の各RCの方々、そしてまた飯塚クラブ会員夫人の会“ともがきの集い”の皆さん、180余名の出席のもと点鐘。クラブ最年長93歳田中康一君の開会の辞、次いで50周年記念の3事業が映像で報告されました。

1.《タイムカプセル回収事業》　30周年事業《遠賀川源流の森の植樹》の際、手伝っていただいたボーイ・ガールスカウトの皆さんと共に記念として埋設したものです。20年が経ち森も人も大きく育ちました。

2.《つなぐ“プロジェクト》　飯塚市にある3大学の四千数百名の学生と地域をつなぐための学生プレゼン大会です。またそしてそのアイデアを実行するものです。

3. コンサート『未来』（イイヅカコスモスコモン大ホール）式典前日の4月6日『森山良子、秋川雅史』with村上ゆき（飯塚出身）and地域の若き音楽家や子どもたち、飯塚オリジナルのコンサートで大盛況でした。（音楽を志す高校生百数十名を招待させていただきました。

尚、50周年記念事業においては若きロータリアンの奮闘を頼もしく感じました。式典後の懇親会においては近大マグロやワインを片手に飯塚自慢や各クラブ自慢で大いに盛り上がりました。今後とも尚一層研鑽に努めてまいりますので御高配を賜りますようお願いを申し上げます。また、各クラブの多くのロータリアンと共に創立50周年の祝杯をあげられたことを光栄に感じるとともにご参加いただいた皆様に御礼を申し上げます。

創立35周年記念事業を終えて
―行橋みやこロータリークラブ―

記念事業実行委員会
委員長 西村 勝
広報委員長 藤原妃呂

1984年に行橋ロータリークラブをスポンサーとして産声をあげた我がクラブは、本年で創立35周年を迎え、去る4月7日に記念式典並びに祝宴を開催いたしました。昨年末に立ち上げた実行委員会は、委員長のもと、10の専門委員会を設置し、幾度となく会議を重ねこの良き日を迎えることができました。開会前には、会員の夫人たちで構成する」「山華会」のメンバーによる抹茶の接待もあり、会場は歓迎ムードに包まれました。

式典では、会長松山貞徳が「この大きな節目を迎えるにあたっては、関係者のご苦労はもとより、何よりも多くの方々のご協力があってのこと」。と敬意を評するとともに、「この記念事業を契機に、継続すべき事業は引き継ぎ、また新たな地域活動や国際貢献も模索していかなければならない」。と力説しました。

当日は、近隣1市2町の首長、日台ロータリー親善会議の大島理事長、第1グループのガバナー補佐や会長、幹事もお祝いに駆けつけていただき、桜花爛漫の候にふさわしく、きらびやかな中にも荘厳かつ厳粛な式典となりました。

又、当クラブと姉妹提携をしている台北朝陽ロータリークラブからも会員、家族合わせ30人余のご来臨をいただき、なお一層の友好を深めることもできました。

今回の周年の記念事業の一環として、①県立築城特別支援学校へ必要備品の購入費の贈呈。②市立総合公園記念碑の金文字入れ。③行橋・京築山小屋杯柔道大会の後援。の3取り組みが秋山記念事業委員長から報告されました。

来賓祝辞の後は、式典のクライマックスとも言える「姉妹クラブ調印式」です。

署名のあと、松山会長と劉思良会長が固く握手を交わし、友好、連帯がいつまでも続くことを参会者全員にアピールすると、会場は割れんばかりの拍手に包まれました。

無事式典を終え、祝宴に入ると会はさらに和やかになり、久しぶりに会えた台北の会員との話の輪があちこちにでき、あっという間の宴でした。石田エレクトの1本締めで閉会となり、無事すべての行事が終わりました。

時あたかも、平成最後の年に記念事業を開催できたことは、何とも感慨深いものがあり、会員一同、この35周年の節目を機に一丸となって、40年、50年をめざしてさらなる連帯と結束を確認できた有意義な事業となりました。

なお、前日は、台北からの招待客を含め総勢80人で、博多湾マリエラナイトクルーズを楽しみ、和気あいあいの船上で歓待と交流も深めることができました。

福岡城南ロータリークラブ創立40周年を迎えて

実行委員長 向 江 健 治（福岡城南RC）

平成31年4月10日、ホテルニューオータニ博多において、当クラブの創立40周年記念の集いを開催しましたので、そのご報告をいたします。

記念の集いのテーマは「つなげよう!40年の絆」とし、頑張るのではなく、楽しむことを目標に、実行委員会を中心に準備を進め、当日を迎えました。

式典においては、国歌斉唱、ロータリーソング斉唱に引き続き、物故会員の追悼等を行いました。

40周年記念事業としては、平成16年の当クラブ創立25周年記念事業、平成17年のロータリー創立100周年記念事業にて桜を植樹しておりました福岡市植物園へベンチ20脚を寄贈し、友好関係にある東京城南ロータリークラブが取り組んでおられるマングローブ植樹プロジェクトに協賛金を寄贈いたしました。

式典においては、寄贈したベンチやマングローブ植樹事業を紹介するスライドを上映しながら40周年記念事業の発表を行い、福岡市植物園長と東京城南ロータリクラブ副会長へ目録を贈呈いたしました。

式典後、40周年の記念対談として、当クラブ創立当初の写真をスライド上映しながら、チャーターメンバーや創立当初からの会員が創立当初の思い出話を披露いたしました。

アトラクションの時間には、当クラブの第21代会長であった故大島淳司氏が中心となって結成された男性合唱団ジョイフル・スーベニールによる合唱と、当クラブと同様今年で創部40年を迎え、輝かしい実績を誇る精華女子高等学校吹奏楽部による演奏を、ご出席の皆様に楽しんでいただきました。

アトラクション後の祝宴においては、会場であるホテルニューオータニ博多も当クラブと同様40周年を迎え、同ホテルと当クラブは共に歩んできたという歴史にちなみ、天皇皇后両陛下が福岡西方沖地震の復興状況ご視察の折りに提供されたコンソメスープを始めとする同ホテルの歴史を彩る料理や、40周年記念の特別カクテルを皆様に楽しんでいただきました。

また、祝宴の最中には、ご出席いただいていた当クラブのOBの方々全員から、当クラブへの想いなどについて、一言ずつ頂戴いたしました。

さらに、新発田城南ロータリークラブの皆様からは「木遣り」をご披露いただくなど祝宴も大いに盛り上がり、大盛況のうちに40周年の記念の集いを終えることができました。

最後になりましたが、創立40周年記念の集いにお越しくださいました、ご来賓、ご来訪者の方々にはこの場をお借りして改めてお礼を申し上げます。

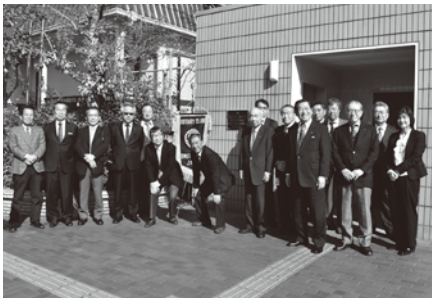
大牟田北RC創立30周年記念式典及び祝賀会を終えて

大牟田北RC実行委員長 山田卓幸

平成31年4月27日に大牟田北ロータリークラブの創立30周年記念式典・祝賀会を開催しました。大牟田市長中尾昌弘様やみやま市長松嶋盛人様、RI2700地区パストガバナー立花寛茂様はじめ多数のご来賓や、スポンサークラブ大牟田RC、大牟田南RC、荒尾RCの100%の登録をいただき、盛大かつ厳粛の内に約130名出席いただき無事終了する事が出来ました事は、各ロータリアンの皆様のご協力があったからと会員一同感謝とお礼を申し上げます。

我がクラブは、昭和63年12月29日に設立、翌平成元年1月17日に国際ロータリーの承認を受けて以来、平成の歴史と共にクラブの歴史を積み重ねて来ました。歴史を振り返りますと、設立時の第2700地区ガバナーは、故横倉弘佶先生（大牟田RC）でした。クラブ設立にあたっては大牟田RCをスポンサーとして、特別代表の故江口建策氏をはじめ、多くのロータリーの方々のご指導のもと、移籍会員もなく新人だけでロータリーマークの歯車の数と同じ24名のチャーターメンバーでスタートしました。

以来江口特別代表の「和をもって貴しとなす」をモットーに〝ロータリーの精神〟そして〝例会〟〝親睦〟を大切にし、時代と共にクラブの歴史を積み重ねてきました。これから令和の時代となり、次の40周年・50周年に向けて、新たな気持で「和をもって貴しとなす」そしてもう一つの初代林田会長の教え「会員一人一人が職業を通して社会の一隅を照らす」そのことを基本にしながら時代に合わせたやり方で、一歩一歩進んで行きたいと考えております。又記念事業としては、当クラブのテリトリーが、大牟田市とみやま市であることから、30周年の感謝を込めて、大牟田市には、大牟田駅の西口整備事業の一環を担う事にして大牟田駅西口公衆トイレの改修工事を行いました。ロータリークラブの発祥であるシカゴロータリークラブの最初の社会奉仕事業が公衆トイレの設置だったという歴史にもあやかりました。又みやま市には、みやま市民の憩いの場である、高田濃施山公園に当クラブ20周年記念事業に引き続き、今回も偽木製ベンチ2基寄贈致しました。贈呈式は3月23日にそれぞれ現地で行い、両市から感謝状をいただきました。30周年のテーマは「30年の感謝を込めて歴史と共に未来へ繋ごう」でしたが、32名のメンバー全員が、今後の北RCの前進を感じえる記念式典、祝賀会になったと思います。まだ記念誌の作成が残っていますが、今回の30周年の内容を取り込んで、秋頃には出来上がる予定です。



今年度の活動報告と次年度に向けて

ロータリー財団委員会 委員長 **岩 崎 員 久**（八幡西RC）

岡野正敏ガバナー年度もいよいよ大詰めの時期となりました。

バリー・ラシンRI会長の「インスピレーションになろう」、岡野正敏ガバナーの「寛容と思いやり　そして和の心」のテーマのもと、ロータリー財団活動を推進してまいりました。

皆様のご理解ご協力もあり、一昨年（富田ガバナー年度）昨年（安増ガバナー年度）と2年続けて財団寄付額も顕著に向上し安心した為か、少し油断をした結果今年度は思うように結果が出せず、ロータリー財団委員会一同反省をいたしておりますと共にお詫びを申し上げます。

しかしながら今年度は皆様のロータリー財団への関心も大きくなり、お陰様をもちまして、グローバル補助金事業2件(いずれもRI承認済)、地区補助金事業24件、グローバル奨学生輩出2名(フランス・イギリス)を実施する事ができました。いくつかの地区補助金事業に参加させていただきましたが、いずれの事業も素晴らしい内容で皆様のご活躍ぶりを肌で感じ取る事ができました。

また日本から年次基金寄付ゼロクラブを無くそうという試みも今年で3年目になります。当2700地区においても皆様のご理解ご協力により昨年までの2年間は目標を達成する事ができました。今年度も目標達成を目指し皆様にお願いをしていますが残り4クラブ（4月20日現在）となっています。まだ寄付をされていないクラブには是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

ポリオについても根絶（これまで撲滅と言ってましたが、より一層の効果をご理解いただける様、次年度から根絶に変わります。）まであとわずかです。

日本ではポリオは根絶しましたが、現在も小学校入学時までの未就学児に4回ポリオワクチンを含む3種混合ワクチンを投与しています。しかしながら、2014年エジプトから帰国した帰国子女にポリオウィルスの保菌者がいる事が判明しました。現在世界各地からのインバウンドが増加しており、その中にポリオウィルスの保菌者がいて日本でポリオが再発する恐れがあります。

厚生労働省を含む関係各所においても未然に防ぐ為、3種混合ワクチンを5回にしようという検討会も開かれています。ワクチン接種が5回になると日本国内のワクチン購入費が年間250億円になるといわれています。幸い日本では国家予算で賄えますので問題ありませんが、まだポリオ根絶に至っていない地域では根絶に向けての費用が増加します。その為には皆様のご協力が必要です。

皆さんにも可愛いお子様やお孫さんをお持ちの方が多数いらっしゃる事と思います。これから日本を背負ってたつ若い世代にポリオが再発する事の無いよう願いつつ、世界からポリオが根絶させる為にも皆様のお力が必要です。

ロータリー財団活動の趣旨をご理解いただき、地域活性化・世界平和の為にご支援くださいますようお願い申し上げます。

板橋敏雄さんを悼み、当地区に協力して頂き成功した、ロータリー公式標語の保全の経緯

パストガバナー　廣 畑 富 雄（福岡西RC）

板橋敏雄さんは、足利市にお住まいで、第2550地区のガバナーをされ、ロータリーへの貢献が非常に大きい方だった。RIの理事をされたし、米山記念奨学会の理事長を長くされた（終身の名誉理事長となる）。そして余り知られていない事だが、当2700地区に協力して下さり、2007年の規定審議会　（シカゴ、4月下旬）で共同提案者として、ロータリー公式標語の保全に努力し、かつ成功する事ができた。記録に残すべき事であり、板橋さんの訃報に接し、故人を偲ぶと共に、この知られていない公式標語保全の歴史（戦い?）を記してみたい。

ロータリーの公式標語はご承知のように二つある。一つは、「Service Above Self ：超我の奉仕」であり、今一つは、「He Profits Most Who Serves Best ：最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」である。過去100年有余のロータリーの歴史で、この二つの標語は、ロータリーの理念を代表し、いわば燦然と輝いてきた標語である。どんなロータリークラブでも、その設立の際「チャーター、認証状」が送られてくる。クラブ設立の許可状であり、大切に保管される。この認証状には、一番上の左右に、この二つの公式標語がプリント（英文）されている。

He Profits ----- の公式標語は、高本ガバナーの時だったか、使用停止になった。日本の全ガバナーは連名で、抗議文をRIに送った。

停止の理由は、女性の会員が認められ、Heでは困るという事だった（米国の憲法にはいまだにHeが使われているが）。結局規定審議会で審議され、その結果HeがTheyに変えられた。単数形から複数形に変えられれば、基本的なコンセプトが変わり、基本的な理念が変えられることになる（元来ロータリーの基本は、アイサーブ）。

これは大きな問題であり、私は当地区の地区大会での承認のもとに、He/She Profits―― と変更する立法案を規定審議会に提出した。この際一地区だけでは戦術上の問題があり、板橋さんに相談すると全面的に賛同され、結局2700地区と2550地区の共同提案となった。地区代表の議員は、廣畑とD2550の半田久一さんであった。

規定審議会での趣旨説明は、結構大変である。充分に準備し、説得力のあるプレゼンテーションが必要となる。私は原稿を何回も書き直し、簡潔明瞭を旨とし、英語での趣旨説明と、討論を行った。幸い過半数の議員が賛成し、この立法案は成立し、理事会へ送付された。この時ラタクルRI元会長が、親指を立てて祝って下さったのは忘れられない。この立法案が通ると、日本の34地区の殆どの方が来られ、祝って下さり、若干涙が出た記憶がある。

こうして理事会に送られたが、理事会通過には重田理事、渡辺理事のご努力が必要だった。結局理事会も賛同し、ただし表現をOne Profitsと変え、規定審議会にはイリノイ州提案の形をとり、提案通過した。元来Heが問題になったとき、理事会案は（ラタクル会長、板橋理事）One Profitsの形を考え、それが審議会でThey に変えられた。単数形がOne Profitsの形で維持されるのは、全く異論のない事であった。

以上この小文で、板橋さんを悼み、当地区と共同の立法案成立の経緯を述べ、記録にとどめさせて頂いた次第である。

年度末のお礼とお願い

2700地区副幹事
ロータリーの友委員会2700地区代表委員
浦 山 隆 行（門司西ロータリークラブ）

月信10月号ではロータリーの友誌の有効活用に加え、より多くのクラブ・地区会員の皆様からの投稿をお願いいたしました。友誌での投稿が少ない当地区ですが、徐々にではありますが投稿が増えてきました。これも皆様のご協力の成果だと大変感謝しております。

しかし、当地区にはまだまだ記事にしたいと思える活動はたくさんあります。また活動の報告だけでなく、誰でも参加できるのが友誌の良いところです。「ロータリーアットワーク」はクラブの奉仕活動をPRできる場です。マスコミの取材を受けられた奉仕活動などは友誌でも記事にされませんか?クラブのイベントの告知をしたり、クラブへのメーキャップを増やしたりしたいと思えば、「内外よろず案内」のコーナーもあります。興味のわいた記事があればぜひ感想を「声」のコーナーへどうぞ。投稿に関する相談は、友誌編集部でも、地区代表委員でも受け付けております。

「ロータリーの友」はロータリアンが読むだけのものではなく、参加して共に作り上げていくものだと思っております。2700地区ここにあり!この地区のパワーで友誌を、日本のロータリーを盛り上げてまいりましょう。

私の委員の任期は6月末で終わりですが、地区代表委員によるロータリーの友に関する卓話は1年中実施しております。プログラム担当委員の方は、ぜひお気軽にガバナー事務所を通じてお声をおかけください。

最後に、友誌だけでなく、来期以降のガバナー月信も同様にご愛読・ご活用いただけますよう、よろしくお願いいたします。

ロータリー美術展及び義捐金のご報告

皆様のご協力のもと、多くのロータリー会員やご家族の方々にご来場いただきまして、『第54回福岡・ロータリー美術展』も無事終了することができました。本当にありがとうございました。

ご来場いただきました方々より、「九州北部豪雨 復興支援チャリティ」への寄付を頂戴いたしまた37,884円は甘木ロータリークラブを通して送らせていただきました。

今後も会員相互の親睦を図りながら創作活動を続けて参りますので、芸術にご興味のある方々は是非、ご連絡をお待ちしています。勿論、ジャンルも上手下手も問わない素人集団ですので、お気軽にどうぞ!

福岡・ロータリーアートクラブ
幹事　山下麗理（携帯　090-3323-7460）

●4月度出席報告

	クラブ名	当月出席率	7月1日会員数	(内女性)	当月末会員数	(内女性)	期首からの増減
第1グループ	豊前	88.28	33	2	33	2	0
	豊前西	79.50	13	1	13	1	0
	苅田	81.90	36	5	36	5	0
	田川	96.90	43	5	44	5	1
	行橋	78.47	39	3	39	2	0
	行橋みやこ	84.43	58	5	61	5	3
	計(6RC)	84.91	222	21	226	20	4
第2グループ	小倉	97.84	64		61		-3
	小倉中央	90.24	40	14	41	14	1
	小倉東	97.07	84		94		10
	小倉南	100.00	66		62		-4
	小倉西	93.62	50		52	1	2
	門司	82.20	43	4	42	3	-1
	門司西	87.50	46	2	48	2	2
	戸畑	95.50	24	4	23	4	-1
	戸畑東	93.75	24		24	1	0
	若松	95.00	22	4	22	4	0
	若松中央	76.14	22	1	23	1	1
	計(11RC)	91.71	485	29	492	30	7
第3グループ	飯塚	96.10	73		78		5
	直方	92.50	40	4	41	3	1
	直方中央	80.02	35	2	34	3	-1
	遠賀	87.60	52	2	51	2	-1
	八幡	88.80	49	8	49	7	0
	八幡中央	93.80	56	3	55	3	-1
	八幡南	82.40	50	1	51	1	1
	八幡西	89.25	50		53		3
	計(8RC)	88.81	405	20	412	19	7
第4グループ	太宰府	83.10	49	3	48	3	-1
	福岡	87.66	116	3	129	3	13
	福岡平成	94.18	53	16	53	16	0
	福岡東	85.60	81	17	80	16	-1
	福岡城南	98.80	58	6	64	9	6
	福岡南	84.86	100		95		-5

	クラブ名	当月出席率	7月1日会員数	(内女性)	当月末会員数	(内女性)	期首からの増減
第4グループ	福岡東南	93.80	68	10	73	11	5
	博多イブニング	83.48	49	12	54	15	5
	宗像	77.78	47	5	47	5	0
	対馬	71.03	17	3	19	3	2
	計(10RC)	86.03	638	75	662	81	24
第5グループ	福岡中央	85.33	51		47		-4
	福岡イブニング	65.30	48	5	50	5	2
	福岡城西	96.19	112		109		-3
	福岡城東	92.00	31	1	29	1	-2
	福岡北	97.22	66		65		-1
	福岡西	90.09	145		142		-3
	博多	96.23	64		63		-1
	壱岐	89.40	47	2	49	2	2
	壱岐中央	87.06	28		36		8
	糸島	95.48	59		59		0
	計(10RC)	89.43	651	8	649	8	-2
第6グループ	甘木	98.08	61	1	59	1	-2
	久留米	90.90	78	2	76	2	-2
	久留米中央	100.00	42	2	43	3	1
	久留米東	87.78	70	7	74	6	4
	久留米北	91.70	76	4	72	5	-4
	小郡	93.23	55	2	53	1	-2
	鳥栖	77.50	62	2	62	2	0
	浮羽	88.05	47		47		0
	計(8RC)	90.91	491	20	486	20	-5
第7グループ	筑後	83.86	32		31		-1
	久留米南部	78.57	7		7		0
	大川	96.30	37		37		0
	大牟田	90.20	63	1	60	2	-3
	大牟田北	91.97	33	2	32	2	-1
	大牟田南	94.23	28		27		-1
	八女	81.00	26	1	26	1	0
	柳川	84.20	56	3	58	4	2
	計(8RC)	87.54	282	7	278	9	-4

総計	当月平均	7月1日会員数	(内女性)	当月末会員数	(内女性)	期首からの増減
	88.7	3,174	180	3,205(3,209)	187(178)	31

※( )内は前年同月末会員数

●4月新会員ご紹介(17RC:23人)

ご入会おめでとうございます。

グループ	クラブ名	お名前(敬称略)
第2グループ	小倉西	神崎 大
		金丸 勝利
		市岡 泰子
	門司西	深瀬 千尋
	戸畑東	麻生 英輝
第3グループ	飯塚	田中 晃
	直方	眞瀬 達也

グループ	クラブ名	お名前(敬称略)
第4グループ	博多イブニング	清水 富美
		平塚 聡志
第5グループ	福岡西	中村 克久
		西井 一史
	壱岐	重井 優作
	壱岐中央	五十嵐 稔
	糸島	佐竹 英仁

グループ	クラブ名	お名前(敬称略)
第6グループ	甘木	水城 優
	久留米	喜多村浩司
		中園 幸滋
	久留米東	赤司 欣也
	鳥栖	武藤 一雄
	浮羽	髙尾 勇二
		平塚 敦章
第7グループ	筑後	鈴木 久司
	八女	北川 和文

●寄付者ご紹介(4月分)

ポールハリスフェロー

倉田　正平 君	久留米RC	Multiple
江藤　政十 君	浮羽RC	
内山　勝之 君	浮羽RC	
立花　寛茂 君	柳川RC	Multiple
甲斐田眞道 君	糸島RC	Multiple
伊藤　久男 君	久留米中央RC	
宮地信太郎 君	久留米中央RC	
中村　滋 君	壱岐中央RC	Multiple
廣松　邦子 君	福岡城南RC	Multiple
品川晃一郎 君	壱岐RC	Multiple
川嶋　之計 君	小郡RC	
浜崎　恵 君	小郡RC	
立川　寛 君	壱岐RC	
長峰　政典 君	壱岐RC	Multiple
久田　辰之 君	壱岐RC	
堤　峰敏 君	大牟田北RC	Multiple

米山功労者

		表彰回数
松尾 幸靜　君	福岡東南RC	2
武藤 誠二　君	八幡中央RC	5
小川 敏弘　君	飯塚RC	1
品川 晃一郎君	壱岐RC	6

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

中間　翼 会員
(小倉南ロータリークラブ)
●ロータリー歴／49年
●ご逝去年月日／平成31年3月25日
●享年／88歳

石田　正史 会員
(福岡西ロータリークラブ)
●ロータリー歴／17年11ヶ月
●ご逝去年月日／平成31年4月13日
●享年／63歳

今村　英洲 名誉会員
(久留米北ロータリークラブ)
●ロータリー歴／41年6ヶ月
●ご逝去年月日／平成31年4月18日
●享年／79歳

岸本　一 会員
(小倉東ロータリークラブ)
●ロータリー歴／11年4ヶ月
●ご逝去年月日／令和元年5月6日
●享年／73歳

ロータリーレート

レート
確認方法

国際ロータリーホームページ
https://my.rotary.org/ja

▼

国際ロータリー為替レート

文庫通信 376号

ロータリー文庫通信376号 2019年4月
新会員のためのロータリーの歴史文献

2019年規定審議会では多くの重要法案が採決され、否が応でもこれからのロータリークラブ／国際ロータリーの管理・運営に影響を及ぼします。これからのロータリーを考える上で、ロータリーの歴史を知ることはその第一歩です。特に、新しく入会された会員のために文献を選びました。初期の頃と今とでは、ロータリーの本質の捉え方も異なってきております。歴史的記述には間違いや相反するものも含まれています。冷徹な批判的な眼をもって、過去を正しく分析し、未来のロータリーを考えてください。

◎**ロータリーの歴史年表(2018年12月改訂版) 諏訪昭登 2018 10P ※**
◎**奉仕の一世紀 国際ロータリー物語　デイビッドC.フォワード著;**
菅野多利雄日本語訳監修 R.I. 2003 331P ※
◎**ロータリー日本五十年史　ロータリー日本50年史編集委員会 1971**
430P ※
◎**ロータリー進化論　前原勝樹 [1985] 19P※**
◎**ロータリー歴史探訪　田中毅 2004 131P※**
◎**新会員のためのロータリーの歴史　佐藤佶 1987 48P ※**

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

ロータリー文庫
〒105−0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
開館=午前10時〜午後5時　休館=土・日・祝祭日
●資料の検索は文庫ホームページから　http://www.rotary-bunko.gr.jp

第2700地区 6月地区内行事予定表

日時	行事
1日(土)	RLI日本支部　第2700地区ディスカッションリーダー研修会
	第38回 RYLAセミナー(〜2日)
8日(土)	糸島RC創立50周年記念式典
11日(火)	青少年奉仕委員会
14日(金)	インターアクト委員会(〜15日)
15日(土)	小倉東RC創立60周年記念式典
	青少年交換オリエンテーション、来日学生修了証書授与式
17日(月)	地区研修委員会
19日(水)	職業奉仕委員会
	広報・公共イメージ委員会
20日(木)	ロータリー財団委員会
22日(土)	地区役職者会議
	米山記念奨学金指定校推薦割当数決定会議
23日(日)	地区ローターアクト創立50周年記念式典、ローターアクト歴代会議

関門時間旅行
海峡都市で、会いましょう。

大正デモクラシー時代 1922年の関門へ

アインシュタインと漱石、寅彦、虚子をめぐる関門時間旅行

アインシュタインの来日は大正11(1922)年の終わり頃で、ノーベル物理学賞をもらった年でした。受賞のニュースは渡航中に伝えられたそうです。各地で熱烈な歓迎を受けたアインシュタインにとって、日本はとても印象のいい国だったでしょう。

福岡市での講演会のために九州入りしたのですが、講演の前後には博多ではなく門司で過ごします。当時は門司の方が西洋人には過ごしやすい街だったのかもしれません。クリスマスの時期で、博士自らパーティでバイオリンを披露したのだとか。

ところで、アインシュタインと1歳違いの日本人物理学者をご存知でしょうか？ それは随筆家、俳人としても活躍した寺田寅彦。あの夏目漱石の弟子としても知られる人物です。寅彦は漱石がまだ教師だった時代に熊本五校の英語の先生と生徒として出会い、在学中の明治31(1898)年に一緒に俳句結社を起こしています。

高校時代、寺田寅彦は熊本から帰省途中に門司により、宿屋で友人と朝まで議論したそうです。話題は熊本で夏目金之助先生の詠んだ句について。

『落ちざまに 虻(あぶ)を伏せたる椿(つばき)かな』

果たして、ポトンと落ちる椿の花があぶを伏せることがありえるのか・・・

いかにも後の大物理学者らしい議論です。

漱石先生と俳句に縁のある人がもう一人、アインシュタイン来日の年に関門海峡を渡っています。当時の俳壇に君臨していた高浜虚子(きょし)。漱石の小説デビュー作「吾輩は猫である」をプロデュースしたともいえる人物です。

その高浜虚子が後に伝説の小倉の文学サロンとなる「櫓山荘」を訪れ、戦後に女流俳人の第一人者といわれる橋本多佳子と出会ったのが大正11年の春。長くなるので詳しくは割愛しますが、多佳子が俳句にのめり込むきっかけになったのは虚子が櫓山荘で即興で作った「椿の花の句」でした。もちろん偶然です。

大正デモクラシー時代の関門、実にいろいろな才能が集っていたのですね。

漱石先生の教え子であり、俳句の弟子でもある物理学者の寺田寅彦。「天災は忘れた頃にやってくる」のオリジナルは彼の発言。

大正10(1922)年、来日した年に撮られたアインシュタイン博士の写真。

向かいの旧JR九州本社ビル方面から撮った旧門司三井倶楽部の全体図。設計は松田昌平。元々は門司の山手地区である谷町にあったものを門司港レトロ整備とともにここに移築した。旧JR九州本社ビルは、弟の松田軍平の設計であり、奇しくも日本近代建築の初期を支えた兄弟の名建築が向きあう構図となったのが面白い。

戦後日本の女流俳人第一人者と呼ばれる橋本多佳子。

明治・大正・昭和と俳壇に君臨した高浜虚子。関門地区には何度も訪れていて、赤間神宮や和布刈神社、三宜楼や門司港の料亭岡崎など、様々なところに句を残している。

夏目漱石は明治29(1896)年に四国の松山から熊本の高校へ転勤になって、広島経由で船で門司港に入り、それから汽車で熊本に向かっている。当時はまだ鉄道が通って間もない頃。

【関門時間旅行】WEBサイト(https://kanmontime.com)では、様々な「関門時間旅行」情報をご用意しています。興味が湧いた方は、ぜひご覧になってみてください。

旧門司三井倶楽部 写真:葛神 清
文章:富田剛史｜関門時間旅行　プロデューサー

第2700地区ガバナー月信
編集委員会連絡所

月信担当／地区副幹事　木村眞治(門司西RC)
連 絡 先／泰平印刷株式会社 ガバナー月信担当／高木
〒803-0821 北九州市小倉北区鋳物師町1-1
TEL.(093)581-5121　FAX.(093)591-1605
e-mail：takagi@taihei-net.co.jp

国際ロータリー第2700地区
ガバナー事務所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1福岡朝日ビル5F
TEL.(092)481-2650　FAX.(092)481-2651
事務局長　e-mail：gocheef@rid2700.jp
事 務 所　e-mail：ri2700go@rid2700.jp
〈執務時間〉平日／9:30～17:00　土曜日・日曜日・祝日／休務

※「ガバナー月信」は地区ホームページでもご覧いただけます。 URL　http://www.rid2700.jp/